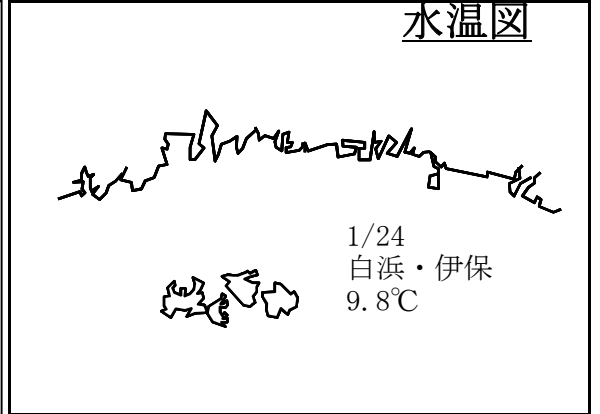


兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 10 号)

平成29年1月28日発行
 兵庫のみ研究所

この海域全般にユーカンピアをはじめ複数種の珪藻が見られ、その発存量が前回(1/16)調査と比較し地先・沖合漁場とも増加していました。窒素は地先漁場の一部を除き概ね1 μg at / L前後、沖合漁場では概ね2 μg at / L台でした。珪藻が増加していることや、近隣海域(岡山・香川)の栄養塩が低下していることから、更に栄養塩が減少する可能性もありますので今後の動向に注意して下さい。

(**栄養塩、珪藻**) 赤穂漁場では陸水の影響(塩分濃度が低い)を受けており窒素の値が高かった。他の地先漁場ではユーカンピアやキートセロス、スケルトネマ等複数種の珪藻が多く混在している。沖合漁場においてもユーカンピアを主体とし地先漁場と同種の珪藻が見られる。院下漁場について、海水中の珪藻は少ないことから近隣海域の栄養塩低下の影響を受けていると考えられる。地先漁場および沖合の窒素の値が低い漁場においては、ユーカンピアの色素が薄い又は抜けている(活力が低下)細胞が少し確認され始めた。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	4.1	1.5	1.6	1.7
	リン	0.53	0.29	0.21	0.12
家島・坊勢	窒素	4.9	2.0	2.5	4.2
	リン	0.64	0.41	0.46	0.46

(1/16) (1/27)

栄養塩 (窒素) 図

※地先平均は赤穂漁場を除く

平成29年1月27日調査

